

東習志野小学校区が優勝

モリシア杯小学校区対抗少年野球

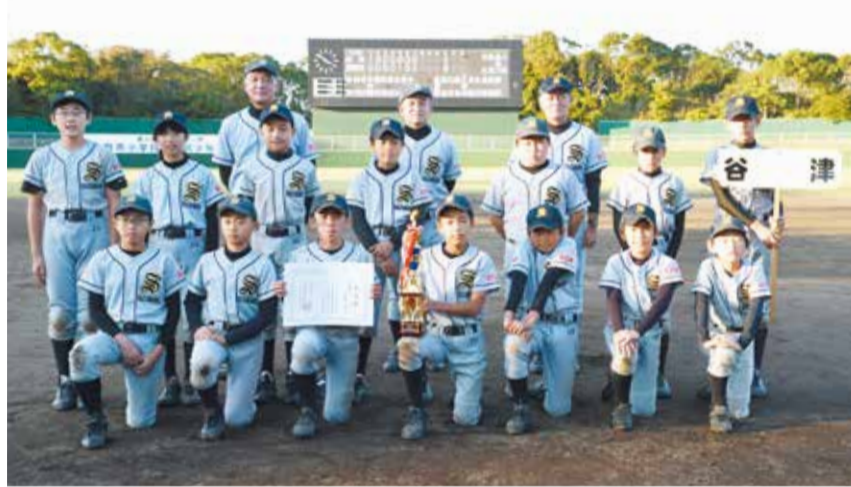
第35回モリシア杯習志野市小学校区対抗少年野球大会が10月25日と31日、第一カッター球場ほかで開かれた。

大会はモリシア杯少年野球実行委員会が主催し、開催・運営に当たっては感染症予防に配慮した十分な対策が取られた。開会式には13チームが参加し、宮本市長ほか来賓が出席して催された。

選手を代表して、向山・谷津南小学校区の織戸亮輔主将が「新型コロナウイルス」と



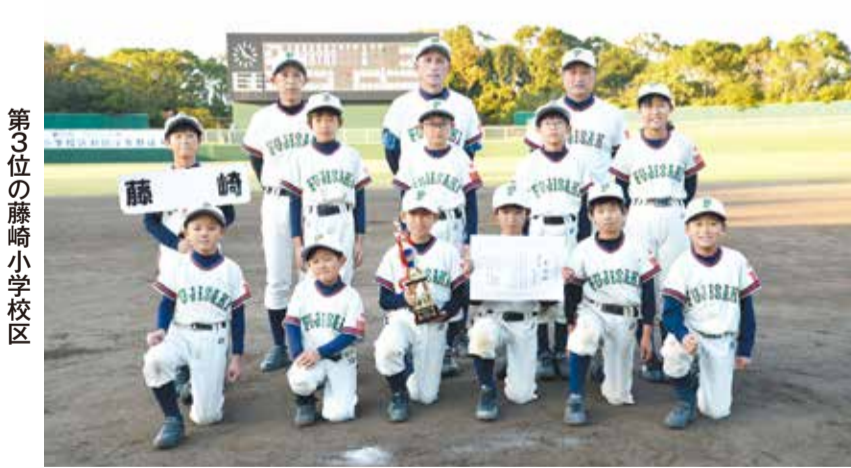
優勝の東習志野小学校区



準優勝の谷津小学校区



第3位の実花小学校区



第3位の藤崎小学校区

う見えない敵との戦いから始まり、野球が得意なというつらい日々をたくさん続けた中で、きょうという日を迎えられることは、ほかの選手にとっても大きな励みになりました。大会の開催に尽力して下さった方々、いままで応援し、支えて下さった方々への感謝の気持ちを胸に最後の一球まで全身全霊で戦うことを誓います」と力強く宣誓した。

大会は両日とも好天に恵まれた。熱戦が繰り広げられた結果、東習志野小学校区が平成4年の第7回大会以来となる3回目の優勝を飾った。

大会結果は次の通り。

▽1回戦

東習小 7-2 鷺沼小	屋敷小 11-1 田中村啓
実花小 20-3 大東小	大久保小 13-3 秋津・香露
谷津小 8-3 津田沼小	

▽2回戦

東習小 9-2 屋敷小	実花小 5-4 大久保小
藤崎小 5-4 実花小	谷津小 12-2 袖東・西小

▽準決勝戦

東習小 6-5 実花小	谷津小 14-0 藤崎小
-------------	--------------

▽決勝戦

谷津小学校区	13000000
東習志野小学校区	00501006

決勝戦は、順当に勝ち上がってきた谷津小学校区と、準決勝戦では実花小学校区にサドンデスの末、僅差で粘り勝った東習志野小学校区との対戦となった。

谷津は1回表、死球、盗塁の3番中村啓が4番磯村の右翼線適時打でかえり先制。2回表には、一死から7番石川が内野安打と盗塁。8番清田の内野ゴロで石川は三塁刺殺だが、清田は連続盗塁。9番中村啓の内野ゴロはエラーで、清田

がcaえり、中村啓は三塁へ。1番田の内野飛もエラーを生み、中村啓がcaえり、2番寺田の中前安打で田内もcaえりこの回3点と4点リードする。

東習志野は谷津・中堅手の田内の好捕もあり2回まで無得点。反撃は3回裏。7番長澤が中前安打、8番高橋は四球。9番藤野の内

野安打で無死満塁とし、1番國吉の打席で四球押し出し。2番石井の内野間の飛球は安打となり、高橋と藤野がcaえり1点差とする。さらに4番久保田の内野ゴロで國吉がcaえり同点とする。5番南館の二遊間を抜ける中前適時打で逆転に成功。5回裏には死球の久保田が内野ゴロで進塁

し、6番本河の左翼線安打でcaえり追加点を挙げ、2点差とする。

5回、6回と安打は出るが、打線が続かない谷津は7回表、一死から田内が左中間二塁打。続く寺田は鮮やかに中前安打を放ち、田内は本塁を目指すが、返球良く、東習志野の捕手・久保田の前に横死。粘る谷津は二死ながら走者二、三塁とするが万事休した。

東習志野小学校区の南館



闘志あふれるプレー(7回表)

モリシア津田沼で写真展

12月20日まで 熱戦の模様紹介

大会に協賛したモリシア津田沼では「第35回モリシア杯習志野市小学校区対抗少年野球大会」の様子を試合ごとに記録した「モリシア杯少年野球写真展」を12月20日まで開催している。

1階モンサック(MON SACK)前では、大会に臨み、懸命にプレーした球児たちの熱戦の模様が700枚以上の写真で紹介されている。

- 第25回大会(平成22年)以降の優勝校は以下の通り。
- 25回(22年) ①実花 ②実花
 - ③東習志野 ④谷津南
 - 26回(23年) ①大久保 ②鷺沼 ③屋敷 ④藤崎
 - 27回(24年) ①大久保 ②鷺沼 ③藤崎 ④実花
 - 28回(25年) ①実花 ②鷺沼 ③谷津 ④大久保
 - 29回(26年) ①大久保 ②鷺沼 ③藤崎 ④屋敷
 - 30回(27年) ①大久保 ②津田沼 ③鷺沼 ④谷津
 - 31回(28年) ①藤崎 ②谷津 ③東習志野 ④向山
 - 32回(29年) ①谷津 ②鷺沼 ③実花 ④藤崎
 - 33回(30年) ①実花 ②東習志野 ③藤崎 ④向山・谷津南
 - 34回(令和元年) ①屋敷 ②鷺沼 ③実花 ④津田沼